

JBA 緊急時対応計画

次の場合は直ちに救急車(119番)を呼ぶ

- 意識障害:意識がない、もうろうとしている
- 呼吸停止・呼吸困難
- 頭痛:頭を強く打って嘔気・嘔吐がある時
- 頭痛:今まで経験したことのないような強い痛みがある時
- けいれんを起こしている時
- 激痛の持続するもの
- 多量の出血を伴うもの
- 大きな開放創をもつもの
- 広範囲の火傷を受けたもの
- 骨折の疑いがある時
- その他、判断に迷う時には119番通報する

「119番」にかける。救急隊の対応に明確に答える

救急隊	スタッフ
火事ですか?救急ですか?	「救急です。」
住所はどちらになりますか?	「〇〇市〇〇番地(住所)の〇〇(施設名)です。」 住所と施設名を言う。
状況を教えてください。	「だれが(傷病者の名前)、いつ(時間)、どこで(施設名)、どうして(ケガ・病気の原因)、どうなった(傷病者の状態)」を伝える。
お使いの電話番号は?	「〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇です。」使用している電話番号を言う。
あなたのお名前は?	「〇〇です。」
どこへ行けばよいですか?	「〇〇へお願いします。」「スタッフが誘導します。」
	救急車が到着するまでにしておくべきことがあるかどうかを聞く。

救急車を要請したら

- 役割分担をして、傷病者の手当てと状況の現場の管理を行う。
 - 傷病者の手当て・観察
 - 救急車の誘導
 - AED の準備
 - 傷病者の「緊急連絡カード」を準備
 - 選手、参加者の誘導
 - 保護者への連絡(「緊急連絡カードに記載」)
- 注意事項
 - 頸椎(首)のケガが疑われる場合、声をかけて意識を確認し、動かさずに救急車の到着を待つ
 - 嘔吐がある場合は身体を横にする

救急車が到着したら

- 傷病者に行った手当ての内容を報告
- 緊急連絡カードを渡す
- 救急車には、傷病者についてよく知っている者がいる者、保護者に対応するスタッフが同乗する

緊急対応が終わったら

- 「傷病・事故報告書」に詳細と対応を記入する

JBA 緊急時対応計画

各会場管理者へのお願い

緊急時において敏速に対応を行う為に、「緊急対応カード」を準備します。119番通報を促すために、下記を提供してください。また、施設(学校)で定められた講習会会場(体育館)における緊急時対応計画があれば準備してください。

1. 施設名と住所(救急車の行き先を伝えるために必要です)
2. 会場に備え付けの電話の電話番号(119番に通報する際に使用します)
3. 救急車が施設に来る場合の入り口への案内方法(住所や施設名ではわかりにくい場合があるので、付近の目印や通りの名前などを使い、わかりやすい案内が必要です)
4. AED および担架、車イスの場所
5. 救急車誘導のための通ridorの確保(校門や通用門の鍵など、救急車を会場施設に誘導するために必要なものを準備してください)